

令和4年11月16日

編集・発行 農林水産省農産局技術普及課

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
oo

このメールマガジンは、普及事業に関する情報などを、登録された皆様に無料でお届けするものです。もし、まわりに登録されていない方がいましたら、ぜひ登録をお勧めください。

登録先は、<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html> をご覧ください。
oo

【 本 号 の 内 容 】

【技術普及課からのお知らせ】

☆グリーンな栽培体系を学ぶ第2回オンラインセミナーの開催のお知らせ
☆グリーンな栽培体系への転換サポートについて！

【施策情報】

☆みどりの食料システム法の本格運用開始！
☆農業用ハウスをお持ちの農家のみなさん！大雪による災害に備えましょう！
☆雇用就農資金の募集を開始します！
☆女性農業者や若者を対象としたビジネスコンテスト「農業女子アワード2022」募集中！
☆「農林水産研究の推進」の最新成果集を公開しました
☆農研機構果樹品種の自家用の栽培向け増殖に係る許諾手続きの一部変更について
☆農林水産・食品分野のイノベーションをポスターでご紹介！
☆クリスマス、お正月、春節等のプレゼントには要注意！
☆「ICTの活用や地域資源の利用による農村イノベーションに関する研究」のご案内について

【病虫害発生予報の発表について】

☆「令和4年度 病虫害発生予報第9号」の発表について

++・…… 技術普及課からのお知らせ ……・++

=====

◆グリーンな栽培体系を学ぶ第2回オンラインセミナーの開催のお知らせ

=====

「グリーンな栽培体系」の取組を学ぶ第2回オンラインセミナーを開催いたします。「化学肥料使用低減の技術体系とプラスチック被覆肥料の代替」と「農地からの温室効果ガス削減技術」の講演のほか、「グリーンな栽培体系への転換サポート事業」を取り組んでいる各産地（千葉県、福島県、山形県）から、取組状況の発表もあります。

普及指導員の皆様におかれましては、積極的なご参加と周知についてご協力

のほどよろしく申し上げます。

▼詳細はこちら

○グリーンな栽培体系を学ぶ第2回オンラインセミナー

https://www.maff.go.jp/j/kanbo/smart/jisedai_senryaku.html

○セミナー申込サイト（第2回グリーンな栽培体系を学ぶオンラインセミナー申込フォーム）

<https://share.hsforms.com/1eNfd26ZVSNUBNjk-VgnXfwcd2d2>

※お問い合わせ先

農林水産省 農産局 技術普及課（担当：渕上、池田、道端）

（03-3501-3769）

=====

◆グリーンな栽培体系への転換サポートについて！

=====

令和4年度補正予算が閣議決定され、「グリーンな栽培体系への転換サポート」が措置されました。本事業は、みどりの食料システム戦略の実現に向け、それぞれの産地に適した「環境にやさしい栽培技術」と「省力化に資する技術」を取り入れた「グリーンな栽培体系」への転換を推進するため、栽培技術の検証や普及に向けた取組を支援する非常に使いやすい事業となっており、令和3年度補正及び令和4年度当初事業では、約190地区で活用されております。令和4年度補正においては、本事業による技術検証に用いるスマート農業機械等の導入、消費者理解の醸成に向けた取組に対する支援メニューを拡充しています。

普及指導員の皆様におかれましては、本事業の活用をご検討いただくとともに、生産現場で広く活用されるよう、周知等ご協力をお願いします。

▼詳細はこちら

○令和4年度農林水産省関連補正予算（みどりの食料システム戦略緊急対策交付金のうち「グリーンな栽培体系への転換サポート」）

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/attach/pdf/index-3.pdf>

○みどりの食料システム戦略の実現に向けた各地域の取組状況

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/220621.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 農産局 技術普及課（担当：渕上、道端、池田）

（03-3501-3769）

++・…… 施策情報 ……・++

=====

◆みどりの食料システム法の本格運用開始！

【大臣官房みどりの食料システム戦略グループ】

=====

みどりの食料システム戦略の実現に向けた「みどりの食料システム法」は、国の基本方針の策定に伴い、9月15日から本格運用を開始しました。

その後、10月28日には、滋賀県が、全国初の地方公共団体の基本計画を策定しました。今後、同県において農業者の計画認定が始まることとなります。

また、11月1日には、国は事業者の認定を行い、農業者が税制支援を受けて導入できる対象機械（水田用除草機、再生紙マルチ田植機など）を追加しました。今後も、情報は随時更新してまいります。

普及指導員の皆様におかれましては、みどりの食料システム法に基づく認定制度について、現場での活用促進に向けた周知等のご協力をよろしくお願いします。

▼詳細はこちら

○みどりの食料システム法に関する基本計画の作成状況について

https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/midorihou_kihonkeikaku.html

○基盤確立事業の認定状況及びみどり投資促進税制の対象機械について

https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/midorihou_kibann.html

※お問い合わせ先

農林水産省 大臣官房 みどりの食料システム戦略グループ

（担当：山本、鎌田） （03-6744-7186）

=====

◆農業用ハウスをお持ちの農家のみなさん！大雪による災害に備えましょう！

【経営局保険監理官】

=====

気象庁が9月に発表した寒候期予報では、今冬もラニーニャ現象が続く可能性が高く、この影響で東・西日本を中心に冬型の気圧配置が強まるとのことです。

これで3年連続となるラニーニャ現象ですが、発生した過去2年間では、年末から年始にかけて東北・北陸地方を中心に大雪となり、農業用ハウスが潰れるなどの被害が多発しました。油断は禁物です！農業用ハウスの大雪被害防止に向け、各種被害防止技術を参考に、日頃からの点検・保守管理、補強などの対策が重要です。

また、農林水産省では、農業者が自ら日頃の対策を点検できる自然災害等のリスクに備えるためのチェックリストと農業版BCP（事業継続計画）のフォーマット（園芸用）の活用を推進しております。

さらに、園芸施設共済等の農業保険への加入も重要です。近年は、手厚くなった補償に魅力を感じて加入される方が増えており、施設園芸農家の3人に2人が加入しています。

普及指導員の皆様におかれましては、施設園芸農家の皆様に対し、農業版BCPの活用や園芸施設共済等の農業保険への加入を勧めていただきますよう、よろしくお願いします。

▼詳細はこちら

○施設園芸の台風、大雪等被害防止と早期復旧対策

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/engei/sisetsu/saigaitaisaku.html>

○自然災害等のリスクに備えるためのチェックリストと農業版BCP

https://www.maff.go.jp/j/keiei/maff_bcp.html

○農業保険（収入保険・農業共済）

<https://www.maff.go.jp/j/keiei/nogyohoken/index.html>

○各地域の農業共済組合（NOSA I）連絡先一覧

<https://www.maff.go.jp/j/keiei/nogyohoken/contact.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 経営局 保険監理官（担当：江守、横道）

（03-3502-7394）

=====

◆雇用就農資金の募集を開始します！

【経営局就農・女性課】

=====

農林水産省は、49歳以下の就農希望者を新たに雇用し、農業就業又は独立就農に必要な技術・経営ノウハウ等を習得させるための研修を実施する農業法人等に対して資金を助成する「雇用就農資金」（年間最大60万円、最長4年間）を実施しています。

今般、令和5年2月からの事業開始を希望される方を対象として、令和4年10月26日（水）から12月1日（木）まで第3回目の募集（本年度最後）を行います。

普及指導員の皆様におかれましては、雇用就農資金について、お知り合いの農業法人等に対して周知いただきますよう、よろしくお願いします。

▼詳細はこちら

○雇用就農資金（募集要領・申請書類等）

https://www.be-farmer.jp/farmer/employment_fund/original/

○申請先・問い合わせ

https://www.be-farmer.jp/farmer/employment_fund/original/#anc02

※お問い合わせ先

農林水産省 経営局 就農・女性課（担当：福島）

（03-6744-2162）

=====

◆女性農業者や若者を対象としたビジネスコンテスト「農業女子アワード2022」募集中！

【経営局就農・女性課】

=====

女性農業者や若者が考える、今後の食・農・くらしの活性化に向けたビジネスアイデアや、年齢、性別などに関わらず個性を活かした農業経営を行っている家族・法人を募集しています。

表彰の対象は、ベストウーマン賞/ベストグループ賞（各1点 賞金各500,000円）、ベストファミリー賞/ベストカンパニー賞（各1点 賞金250,000円）など。

普及指導員の皆様におかれましては、農業女子アワード2022の周知について、

ご協力のほどよろしくお願いします。

▼詳細はこちら

○農業女子アワード（エントリー受付）

https://myfarm.co.jp/women/nougyoujoshi_award2022

応募締切は令和4年12月16日（金）17時までです。

農業女子アワード2022事務局（株式会社マイファーム）（担当：阿部、浪越）

（050-3343-7441）

※お問い合わせ先

農林水産省 経営局 就農・女性課（担当：浦野、船水、吉田、假屋園）

（03-3502-6600）

=====

◆「農林水産研究の推進」の最新成果集を公開しました

【農林水産技術会議事務局研究企画課】

=====

農林水産省のプロジェクト研究（みどりの食料システム戦略実現技術開発・実証事業のうち農林水産研究の推進）の令和4年度版成果集をご紹介します。

本成果集では、温室効果ガス削減に資する技術やAIを活用した病虫害防除技術・労務管理技術など最新の研究成果のほか、農業、林業、水産業と幅広い分野に渡ってこれまで取り組んできた様々な研究の成果を紹介しています。

普及指導員の皆様におかれましては、現場への課題解決にご活用ください。本成果集の内容について、ご質問やご要望などございましたら、下記お問い合わせ先までご連絡ください。

▼詳細はこちら

○みどりの食料システム戦略実現技術開発・実証事業（農林水産研究の推進）の研究成果

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/project/seika/index.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究企画課（担当：添田、石川）

（03-3501-4609）

=====

◆農研機構果樹品種の自家用の栽培向け増殖に係る許諾手続きの一部変更について

【農林水産技術会議事務局研究企画課】

=====

農研機構が育成した果樹の登録品種及び出願中品種の自家用の栽培向け増殖に係る許諾手続きについて、果樹農業者等にとって一層申請しやすい仕組みとなるよう、令和4年10月11日から一部変更を行いました。

<変更点>

1. 許諾手続きに関する専用電話相談窓口を開設しました
2. 個人での許諾申請の本数単位を100本単位から、50本単位に引下げました

3. 果樹の許諾期間を、許諾した日から1年後の同月末日までに変更しました
普及指導員の皆様におかれましては、農業者の皆様等への周知についてご協
力をお願いします。

▼詳細はこちら

○農研機構育成の登録品種の自家用の栽培向け増殖に係る許諾手続きについて
(農業者向け)

<https://www.naro.go.jp/collab/breed/permission/index.html>

○品種についてのお問い合わせ(農研機構お問い合わせメールフォーム)

<https://prd.form.naro.go.jp/form/pub/naro01/hinshu>

農研機構 知的財産部 育成者権管理課

専用電話相談窓口：070-7362-5276(平日10時~17時)

※お問い合わせ先

農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究企画課

(担当：雨宮、大堀、門脇) (03-3502-7436)

◆農林水産・食品分野のイノベーションをポスターでご紹介！

【農林水産技術会議事務局研究推進課産学連携室】

農林水産省が推進する『「知」の集積と活用』は、令和4年11月30日(水)
~12月16日(金)に農林水産・食品分野の最新技術等を紹介するポスターセッ
ションを開催します。11月30日(水)には都内会場にてポスター展示・交流を
行うほか、12月15日(木)には研究事例発表をオンラインライブ配信します。
また、期間中は特設ウェブサイトにてポスター展示を行います。

『「知」の集積と活用』は、農林水産・食品分野における産学官連携によ
るオープンイノベーションを目指す取組です。なかでもポスターセッションは、
生産者と企業や大学等の研究機関が連携し、現場の声を反映し、研究を深化・発
展させていく契機となるイベントです。会員以外の方々もご覧いただけますの
で、普及指導員の皆様におかれましては、本イベントの周知をお願いします。

▼詳細はこちら

○農林水産省が進めるオープンイノベーション！「知」の集積と活用 場 ポス
ターセッション 2022 を開催します

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/221109.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究推進課 産学連携室

(担当：高木、稲葉、鷺見、石川) (03-3502-5530)

◆クリスマス、お正月、春節等のプレゼントには要注意！

【消費・安全局動物衛生課】

クリスマスやお正月等は海外のご友人やご家族が日本に遊びに来たり、海外

からプレゼントを送ってもらうことが増えるかと思います。せっかくのお土産やプレゼントで法律違反をしないよう中身には十分気をつけてください。

海外からソーセージ、ジャーキー、ギョウザ、肉まんなどの肉製品を日本に持ち込むことは法律で禁止されています。来日の際に手荷物として持ち込むことはもちろん、国際郵便や宅配便の利用、ネットショッピングも同様です。

肉製品などの畜産物を違法に持ち込んだ場合、300 万円以下（法人の場合 5,000 万円以下）の罰金又は 3 年以下の懲役の対象となりますのでご注意ください。

普及指導員の皆様におかれましては、引き続き、海外からの農業実習生の方や農家の方へ、上記内容を周知していただきますようお願いいたします。

▼詳細はこちら

○肉製品などのおみやげについて（手荷物、国際郵便、宅配便としての持ち込み）

<https://www.maff.go.jp/aqs/tetuzuki/product/aq2.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 消費・安全局 動物衛生課（担当：上原）

（03-3502-8295）

◆「ICT の活用や地域資源の利用による農村イノベーションに関する研究」のご案内について

【農林水産政策研究所】

プロジェクト研究「ICT や先端技術を活用した農村活性化、地域資源・環境の保全に関する研究」（令和元～3 年度）の研究成果報告会を 12 月 6 日（火）に Web 方式にて開催します。

ICT 等を用いた農村での定住条件確保の取組に焦点を当て、3 つの自治体（岩手県遠野市、宮崎県綾町、京都府京丹後市）においてどのような者が関わり、どのようなプロセスでイノベーションが農村内で芽生え、住民の中に広がりながら取り込まれてきたのか、またイノベーションにより住民にどのような効果がもたらされてきたのかを明らかにし、それらの取組の進行過程をマルチレベル・パースペクティブ（Multi-level Perspective：MLP）の視点から整理・分析を行いましたので報告します。また、同様の取組を進める欧州スマートビレッジについても報告します。

普及指導員の皆様におかれましては、ご参加下さいますようお願いいたします。

▼詳細はこちら

○研究成果報告会「ICT の活用や地域資源の利用による農村イノベーションに関する研究」

<https://www.maff.go.jp/primaff/koho/seminar/2022/20221206.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 農林水産政策研究所 広報資料課（担当：澤田）

（03-6737-9012）

++・…… 病虫害発生予報の発表について ……・++

◆「令和4年度 病虫害発生予報第9号」の発表について

【消費・安全局植物防疫課】

農林水産省は、令和4年11月9日(水)付けで、向こう1か月の農作物の病虫害発生動向や防除について「病虫害発生予報第9号」を発表しました。

普及指導員の皆様におかれましては、病虫害防除所と連携し、地域での防除が確実に実施されるようご指導をお願いします。

○ 向こう1か月の主要な病虫害の発生予察情報（発生予報）については次のとおりです。

- 1 野菜では、トマトのコナジラミ類の発生が、関東、東海及び四国の一部の地域で多くなると予想されています。
- 2 果樹や茶では、翌年の病虫害防除を効率的かつ効果的に実施するため、病虫害の越冬量を低下させ、翌春の発生を抑制することが重要です。せん定作業にあわせて、感染落葉や病部を除去し、すみやかに園内土中に埋設するか、園外に持ち出すなど、適切に処理してください。また、ハダニ類及びカイガラムシ類の害虫の発生が多かった園地では、樹の粗皮削りやマシン油の散布による防除を実施してください。茶のカンザワハダニが多発した園地では、秋整枝後の休眠前（秋冬期）又は休眠明け（早春期）に薬剤散布等の防除を実施してください。

この他、きゅうりのコナジラミ類等、地域によっては発生が多くなると予想されている病虫害があるので注意してください。

▼詳細はこちら

○「令和4年度 病虫害発生予報第9号」の発表について

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/syokubo/221109.html>

○病虫害発生予察情報（過去の病虫害発生予報）

https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/boujyo/120104_yoho.html

※お問い合わせ先

農林水産省 消費・安全局 植物防疫課（担当：岡田、麻野、中村、吉田）
(03-3502-3382)

編集後記

11月は、各地で紅葉が見頃を迎え、北国からは初雪の便りも届き、秋から冬へと移り変わる季節です。また、イベントや行事、記念日等も盛りだくさんの月でもあります。

七五三や新嘗祭などの伝統的な行事や、文化の日に伴う学園祭及びハロウィンなどの盛り上がりを見せているイベントの開催、一方で、クリスマス商戦のスタートをきって各地でクリスマスのイルミネーションも開始されるなど、老若男女とも思い思いに楽しめる季節なので、十分満喫し、来る冬に備えて英気を養いましょう。

なお、月末にかけて冷え込みが厳しくなり、インフルエンザの予防接種に足を

運ぶ人も多くなる季節です。皆様、体調管理には十分気をつけて過ごしましょう。

◎編集担当 Y◎



※メルマガの配信登録はこちら

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>

※バックナンバーはこちら

https://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/hukyu/h_mailmag/index.html

※PDF形式のファイルの閲覧について

メールマガジンに記載したURLで、一部PDF形式のものがあります。

PDFファイルをご覧いただくためには農林水産省ホームページ

⇒ <https://www.maff.go.jp/j/use/link.html>

「3 PDFファイルについて」をご覧になり、「Get Adobe Reader」

のボタンで Adobe Reader をダウンロードしてください。